



大谷学長(左)から学位記を受け取る卒業生代表

「志高く日々精進」

八戸学院大・短大 329人に学位記授与

八戸学院大学(大谷真樹学長)と八戸学院短期大学(外崎充子学長)の学位記授与式が17日、八戸市の八戸プラザアーバンホールで行われ、大学2学科127

元気で宣言。学年スローガン「『わかる』まで学び、『できる』まで挑戦し、『たくましい人間になる』ことを、ここに決断します」を、全員で唱和した。続いて、立志・向学・健

康のチームを代表し、工藤由芽さん、平泉咲桜理さん、本堂貴之君がそれぞれ式辞を述べた。5年生と6年生からの感謝の言葉に続き、中等部の児童・生徒全員で唱歌「故郷」を合唱した。

人、短大3学科202人の計329人が社会への新たな一歩を踏み出した。

同大人間健康学科の間宮綾子さん、同短大看護学科の大久保すばるさんら各学科代表5人に、両学長が学位記を授与。大谷学長は式辞で「正しい道はないかなどと悩まずに、自分が信じた道を迷わずに進んで」、外崎学長は「今こそ真剣に、かつ丁寧に生きよ」と卒業生にはなむけの言葉を贈った。

卒業生を代表し、ビジネス学科の小笠原千佳子さんが、45歳で同短大ライフデザイン学科に入学し、さらに大学に編入学して学びを深めた4年間を振り返り「学ぶことの素晴らしさ、学べることのありがたさを知った。これからも志を高く持ち続け、大学で学んだことを生かして日々精進していく」と謝辞を述べた。

(千葉真由美)